

埼玉県機械工学系奨学生レポート 平成 25 年度 11 月 アメリカにおいて感じる健康に対するサポートの厚さ

フィンドレーは1週間に1, 2度雪が舞う季節になりました。来月の上旬には学期末テストも控え、いよいよ秋学期の集大成を迎えようとしています。さて、今月はアメリカの健康に対するサポートの手厚さについて強く感じたことがあるので報告します。またインターンシップでは、製造ラインのセッティングの終盤業務と並行して行った製品の寸法データ収集について報告します。

フィンドレー大学, NBO からの健康サポート

最近、フィンドレー大学でのキャンパスライフ、NBOでのインターンシップの中で、学生や従業員の健康管理に対するサービスの手厚さを強く感じます。例えば、先日私はインフルエンザの予防接種をフィンドレー大学内にあるヘルスセンター(診療所)にて無料で受けることができました。これは、フィンドレー大学の学生であれば無料で受けることができます。また NBO でも同様にインフルエンザの無料接種を行っており、今回は学校で接種しましたが無料で受けるチャンスは NBO から頂きました。私は毎年インフルエンザの予防接種を受けていますが、日本にいるときには自費で接種していたので、正直驚きでした。

フィンドレー大学のヘルスセンター自体も充実しており、平日は医師、看護師が常駐しております。そのインフルエンザの予防接種で初めてヘルスセンターを訪れたのですが、日本の開業医が持つ内科診療所とまったく変わらない程の設備でした。私が在学する日本の大学でも、健康サポートセンターがありますが、看護師の方が常勤しているのみで設備もフィンドレー大学のヘルスセンターには至りません。アメリカの大学は、日本の大学に比べ、学費が高いと言われておりますが、その分学生に対しての手厚いサポートとして還元されている印象を受けました。



大学に併設されているヘルスセンター

NBO インターンシップ

製造ラインの構築がこの2ヶ月で大きく進み、いよいよ稼働まで秒読みの段階です。また、製造ラインの稼働準備の傍ら、日信工業(NBO 日本法人)から依頼された、製品の寸法計測を行いました。これは、日々加工している製品の寸法に間違いがないか調査するものです。もともと製造段階で詳細な計測が各製造過程にて手厚く行われているので、トリプルチェックともいえる計測です。しかしながら別の計測手法で異なる機械を使い、普段寸法計測している従業員以外の方が計測することでより、万が一寸法違いが発生した場合の早期発見できます。今回私は、60 サンプルの計測を行いました。寸法違いは1つもありませんでした。今回の業務ではコンピューターとロボットアーム計測機器を用いた精密計測方法を学ぶことができました。今後はこの計測機器を使用した計測業務を行うことができるので、今後の業務に活かしたいと思えます。



計測業務作業